



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.12

大曲地域大曲西根地区で建築用鉄骨などを製造しているのが、興栄建設株式会社（齋藤靖代表取締役）です。

1975（昭和50）年、神岡地域に興栄鐵工株式会社として創業。1989（平成元）年に社名を現在の名称に変更し、1994（平成6）年には大曲工場を設置。1996（平成8）年、本社を同工場に隣接する現在地に移転しました。今年創業40周年を迎えました。

地元では総合建設業として知られ、民間の住宅から公共施設の建築工事のほか、道路や橋などの建設まで、市民の生活基盤の整備にかかる工事を幅広く請け負っています。



有名ビル支える鉄骨製造

興栄建設（株）〔大曲〕

製造品目／建設用資材（建築鉄骨）

従業員数／116人

★今回の案内人は製造部長の進藤純三さんです。

国道105号沿いでひととき目を引く大曲工場は、敷地面積が約2万1284平方メートル（本社部分含む）。同工場では建築鉄骨を月産で約1500ト製造しており、首都圏を中心とした県内外の高層建築物の工事に使われています。市内では大曲厚生医療センターや大曲中学校体育館などを手がけたほか、首都圏では東京ディズニールランドホテルや東京スカイツリー、衆議院議員会館などの建設にも関わっています。さまざまな溶接ロボットシステムを備え、多種多様な顧客ニーズに対応。充実した設備と社員の確かな技術で高い品質の製品を生み出しています。